

日本方言研究会

第103回研究発表会

日時：2016年10月28日(金)

場所：東北文教大学6号館631教室

〒990-2316 山形県山形市片谷地515 <http://www.t-bunkyo.jp/access/>

JR線利用の場合：蔵王駅(山形駅から米沢方面へ1駅10分)より徒歩7分

バス利用の場合：東北文教大学口(山形駅前から南山形経由高松葉山行30分)より徒歩7分

午前の部 9:10～12:30

9:10-9:20 開会の辞

【研究発表】

9:20-10:05 八丈語による紙芝居—音声談話資料を用いた言語継承活動への取り組み— 三樹陽介

10:05-10:50 三重県立亀山高校生による昔の遊びの方言調査と教育上の効果について
大川 慶・桜井好基

11:00-11:45 九州北部地域におけるシャル敬語の地理的・世代的分布 塩川奈々美

11:45-12:30 宮城県方言におけるモノ系終助詞の形態と用法 小原雄次郎

午後の部 13:20～17:20

13:20-13:30 会場校ご挨拶

13:30-14:15 方言録音文字化資料における音素分布から見た方言分類 入江さやか

14:15-15:00 熊本県八代地域の二型アクセント 山田高明

15:00-15:45 東京方言否定形アクセントにみられる年齢差 御園生保子

【日本方言研究会創立50周年記念企画】

15:55-17:10 シンポジウム「方言を介した地域支援活動」 企画担当：久野マリ子

司会： 半沢 康

小林 隆

東日本大震災—東北大学方言研究センターの活動から—

東日本大震災—「被災地における方言の活性化支援事業」から岩手県を中心に— 大野眞男

「やさしい日本語」の取り組みから 佐藤和之

医療・看護・福祉の現場と方言 今村かほる

地域の生業と方言 新井小枝子

17:10-17:20 閉会の辞

18:30-20:30 懇親会：ホテルキャッスル (会費：一般5,000円, 学生3,000円)

〒990-0031 山形県山形市十日町4-2-7 (山形駅東口より徒歩7分)